

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回 飯塚市中小企業振興円卓会議
開催日時	令和7年8月7日（木）18時00分～19時00分
開催場所	飯塚市役所6階 教育委員会会議室
出席委員	河委員長、鶴田副委員長、荒木委員、田中委員、林田委員、吉原委員、野上委員、岡松委員、西村委員
欠席委員	瓜生委員、谷川委員、伊藤委員、小島委員、大久保委員、日吉委員
オブザーバー	平川オブザーバー、西野オブザーバー
事務局職員	【産学振興課】中村課長、大久保課長補佐、木村主査、野見山係長、岩野 【企業誘致推進課】柴田課長【国際政策課】深江課長 【商工観光課】原野課長、藤井係長【農林振興課】古江課長 【特産品振興・ふるさと応援課】上田課長補佐
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 第2期飯塚市産業振興ビジョン2023～2027数値目標の達成状況について</p> <p>事務局による資料説明後、委員からの質問・意見を聴取。</p> <p>【主な質問・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 飯塚市の産業の動向を把握するための指標「市民総生産の推移（全体）（就業者1人あたり）（産業別分類）」の数値が2022年度実績値の入力のみで2023年度実績値や2024年度実績値が入力されていないのはなぜか。 <p>⇒（事務局）福岡県の「県民経済・市町村民経済計算報告書」を根拠資料として入力しており、翌々年度の3月に公表されるため2023年度実績値や2024年度実績値が入力されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビジョン全体の数値目標「法人市民税（法人税割）納付額」については回復傾向にあるとの説明があったが、基準値には届いていないことからするとよくない状況にあると捉えているのか <p>⇒（事務局）昨年度市内有数の大規模法人が経営環境の変化により法人市民税が1億円以上も下がったことが完全に戻ってきていないことが大きく影響している。</p> <p>所管課からも少しずつではあるが法人市民税の納付額が戻ってきている状況は聞いており、このまま少しずつ回復傾向が推移していくのではないかという予測は立てている。</p>

(2) 部会実施報告とそれを踏まえた意見交換

部会長による実施報告と事務局による追加資料説明後、委員からの質問・意見を聴取。

【主な質問・意見】

■資料 6 (1 ページ) 合同会社面談会について

- 合同会社面談会に係る SNS 広告のリーチ数やクリック数について多いとの説明があったが、実際に合同会社面談会の参加者が少ない印象がある。なぜ少ないかの理由を考えたときに、参加企業が少なかったり、もしくは参加企業に魅力がないのではないかと思うが、その辺りはその点はどう捉えているか

⇒ (事務局) 合同会社面談会を市役所で開催している関係で参加企業数が限られるため 30 社程度の参加になっている。合同会社面談会に参加した企業は、飯塚地域雇用創造協議会が開催した事業拡大の取り組みのセミナーに参加した企業になる。

事業拡大のセミナーに参加し、事業所の魅力を高めて参加いただいている。

- 参加対象となる企業側の意識の問題もあるが、企業へ参加を促すように広報に努める必要があると思う。

様々なデータを見ても人材不足が企業にとっての問題であることは明白。そのような状況にあっても参加企業が少ないことは問題だと思う。

⇒ (事務局) 飯塚地域雇用創造協議会の事業については、今後も引き続き、飯塚商工会議所、飯塚市商工会、嘉飯桂産業振興協議会の協力を得ながら、企業向けの周知を図り、情報が届くように努めていく。

■資料 6 (4 ページ) 産学官交流促進事業について

- e-ZUKA トライバレー産学官交流研究会 (通称「ニーズ会」) については、様々な内容のセミナーが行われているが市内企業が求めている内容のセミナーになっているかを考える必要がある。
- よろず相談窓口における経営相談の内訳が示されているが、その内訳で件数が多いものが市内企業の求めているものではないか。

⇒ (事務局) よろず相談窓口における経営相談の実績を見ながら、e-ZUKA トライバレー産学官交流研究会 (通称「ニーズ会」) の内容を検討し、企画していきたい。

■資料 6 施策全般について

- 様々な施策を市の方で情報提供されているが届いていなかったり、届けるのに苦労されている実態があると思う。
- 企業側の受け身の姿勢にも原因があると思う。困っていることがあるならば、企業側が能動的に動く必要があると思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 困っている内容をクリックすれば、それに対応する施策の情報を確認できるようなホームページになると望ましい。 ⇒（事務局）来年の3月を目途に市のホームページのリニューアルが予定されているため、他自治体のホームページなどを確認しながら改善を検討していく。 ● 飯塚市の公式 LINE の中に「AI に質問」は有効活用できるメニューになるため、市役所内部でも周知徹底を図るべきである。 ● インスタグラムについても地域限定の広告を出すことで効果も期待できる。 ⇒（事務局）検討していく。
会議資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第2期数値目標の達成状況 2. 部会意見まとめと方向性 3. R6業種別雇用数・SNSアクセス数調べ 4. R6求人・求職状況 5. 雇用関係団体一覧 6. R6飯塚よろず個別相談 相談内容・分類
公開・非公開の別	<p>1 公開 2 一部公開 3 非公開</p> <p>(傍聴者 0人)</p>
その他	